

東京工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	中国語	
科目基礎情報							
科目番号	0145		科目区分		一般 / 外部単位科目		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	情報工学科		対象学年		4		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	「わくわくスタディ実学実用初級中国語ライト版」朝日出版社						
担当教員	青野 順也,山口 千佳						
到達目標							
【目的】中国語初心者を対象とする授業である。中国語の発音表記や基礎的な会話、文法を学ぶことによって、コミュニケーション力を培う。 【到達目標】 ・中国語の音節を正しく聞き取り、自らも発音できるようになる。 ・基礎的な文法を理解し、簡単な会話を行うことができる。 ・学習した漢字を正しく書ける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	中国語の音声記号を正しく聞き取れる。発音できる。		中国語の音声記号を正しく発音できる。		中国語の音声記号をおおよそ発音できる。		中国語の音声記号の読み書きがほぼできない。
評価項目2	中国語で簡単な挨拶や会話ができる。		教科書の表現を用いて挨拶や会話ができる。		教科書の表現を用いて、おおよその挨拶や会話ができる。		中国語で簡単な挨拶や会話がほぼできない。
評価項目3	学習した中国語の読み書きができる。簡単な文章が作れる。		学習した中国語の読み書きができる。		学習した中国語の読み書きがおおよそできる。		学習した中国語の読み書きがほぼできない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	中国語の学習を通じて、簡単なコミュニケーションができること、そして、今後の中国語学習の基礎を固めることが主な目的である。また、授業を通じて、中国語圏の文化や考え方について理解を深める。						
授業の進め方・方法	まず、発音を母音子音の順で学び、反復練習や小テストを実施し、基礎の形成を図る。次に会話を用いて、文法事項などを説明する。中国語の特有の表現方法を習得するために、会話の内容を何度も練習する。最後に会話内容の暗記を行い、コミュニケーション力を確実に身につける。						
注意点	中国語の発音、会話を中心に学習する。授業中に積極的に声を出して練習することと、自宅では、教科書に付属するCDを聞きながら練習することが効果的である。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業のガイダンス。中国語の概説。単母音と声調の学習をする。		中国語の基本を知る。単母音と声調をマスターする。		
		2週	単母音の復習。複母音の学習をする。		単母音の定着。複母音をマスターする。		
		3週	母音の復習とテスト。新たな複母音と子音を学習する。		すべての母音と子音の「b～f」をマスターする。		
		4週	母音の復習とテスト。子音を学習する。		母音の定着。子音の「d～s」をマスターする。		
		5週	母音の復習とテスト。2音節の練習。発音規則の説明。		母音の定着。2音節をマスターする。		
		6週	L5の学習と練習をする。		中国語の基本構文を理解する。初対面の会話ができる。		
		7週	L6の会話を学習する。		名前の言い方と尋ね方をマスターする。		
		8週	中間テスト。(自己紹介と2音節の発音テスト)		簡単な自己紹介と発音の到達度を測定する。		
	2ndQ	9週	L7の学習。		中国語の疑問文を理解する。「想」「喜」の使い方が分かる。		
		10週	L7の会話を暗記して発表する。L8の学習と練習。		中国語で質問することができる。趣味を言うこと、尋ねることができる。		
		11週	L8の小テストとL9の学習。		中国語の数字と量詞をマスターする。買い物の簡単な会話ができる。		
		12週	L9の会話を暗記して発表する。		買い物の会話を身につける。		
		13週	L10の学習と練習。		レストラン簡単な注文ができる。		
		14週	L10の会話を暗記して発表する。		レストランでの会話をマスターする。		
		15週	期末復習。		前期の学習事項を再確認し、基礎を固める。		
		16週	期末テスト。		学習到達度を図る。		
後期	3rdQ	1週	後期の授業のガイダンス。発音の復習とL11の学習。		発音の復習と所在文の使い方を理解する。		
		2週	L11の学習をする。		中国語の方位詞、前置詞をマスターする。		
		3週	L11の会話を暗記して発表する。L12のポイントを学習する。		中国語で道を尋ねることができる。年月日、曜日の言い方をマスターする。		
		4週	L12の学習と練習。		年月日、曜日の言い方、尋ね方をマスターする。		
		5週	L12の小テスト。L13の学習をする。		時間と時刻の言い方ができる。		
		6週	L13の会話を暗記して発表する。L14のポイントを学習する。		時間と時刻の言い方が身につける。比較文の構造を理解することができる。		
		7週	L14の学習と練習。中間復習。		完了、比較の使い方を理解する。		
		8週	中間テスト		L11～L13の到達度を確認し、評価する。		
	4thQ	9週	答案返却と解説。L14小テスト。L15の学習。		方向補語の使い方と指示代名詞をマスターする。		

	10週	L15の学習。楽しみ会の準備をする。	簡単な見学の会話が出来る。
	11週	お楽しみ会。	中国語で歌ったり、遊んだりして、楽しく中国語を覚える。
	12週	L15の会話を暗記して発表する。L16の学習。	見学の会話を身に付ける。結果補語、主述述語文、「会」の使い方をマスターする。
	13週	L16の学習。	友達をスポーツに誘う会話を身につける。
	14週	L16の会話を暗記して発表する。	友達を誘う会話が自然にできる。
	15週	期末復習。	後期の学習重点を再確認し、基礎を固める。
	16週	期末テスト。	L14～L16の学習到達度を確認し、評価する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他 小テスト	合計	
総合評価割合	60	10	0	10	0	20	100	
基礎的能力	60	10	0	10	0	20	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	